

読書推進活動に向けた取組

1. 学校の概要

- ①〒964-0904 福島県二本松市郭内 2-347
- ②学級数 12 クラス 生徒数 443 人(令和4年 5 月1日現在)
- ③学校図書館の蔵書数 36,057冊(令和4年 5 月1日現在)

2. 取組内容

- ①生徒が本に親しみやすく、使いやすい学校図書館環境の一層の充実に向けた取組

・特設コーナーの設置

次のコーナーを設置している。

特集(館内入口近く2か所)／医療・看護、保育／進路に関する資料

小論文試験出題本及び、小論文を書くときに読んで欲しい本／東日本大震災関連本

・書架見出しの設置

本校図書館は、NDCの並びよりも、生徒がよく利用するものをまとめて配架している箇所が多いため、わかりやすいように、「食の本」や「こころの病気」など、書架の見出しを付けている。

・図書館だよりの発行

毎月図書だよりを作成し、オススメの図書や新着本、関連図書などの紹介をしている。

今年度途中から配布方法を変更し、クラス掲示分と教職員分は紙版を配付、生徒個人へは電子データで配付をすることにした。

・図書委員会による本の紹介

朝の読書週間や長期休みなどに合わせ、図書委員のオススメ本をPOPにし、展示・貸出している。また、図書館近くの廊下の掲示板にPOPのコピーを掲示している。

・図書館行事の実施

令和4年度の公開文化祭では、図書委員会として次の企画を行った。

〈1〉手作りしおりの作製……図書委員が各自5枚ずつ原画を作製したものを数枚カラーコピーし、ラミネート加工を施した。来館者に1枚ずつ好きなものを選んでいただき、お持ち帰りいただいた。計89枚配付。

〈2〉吊るし飾り……図書委員長を中心に、手順や分担を細かく計画し制作した。図書館入口の扉や、閲覧室の窓に飾り、館内の雰囲気をよくすることに役立った。

〈3〉図書委員の推し本……図書委員がおすすめる本を、POPと一緒に展示した。



#### ・4校合同 POP 展の実施

読書週間期間に合わせ、二本松工業、安達東、本宮、本校の学校図書館が合同で、生徒によるおすすめの本の展示を開催した。初めての試み。また、二本松市立図書館でも一部展示をして頂いた。

#### ②学校における読書を通した読書週間の定着を図る取組

##### ・朝の読書の実施

年度計画では、6、7、12、2月の計4回実施。朝のSHR前の10分間に行っている。

また令和3年度から、毎回朝の読書期間の初日の朝に、「出張貸出」を実施している。各学年の廊下で、担当の図書委員が学校図書館の本25冊程度を並べ、貸出の対応をするというもの。令和3年度は4回実施して計140冊、今年度は3回実施までで93冊の貸出があった。

#### ③読書活動の質の向上へ向けた取組

##### ・授業との連携

1、2学年国語で、長期休み前に、新書や自分の進路に関する本を読むという課題が出されたため、学校図書館として、個人に合わせた本の紹介をした。また進路に関する本の受入れを強化した。

1、2学年のSDGs探究学習では、多くの生徒が学校図書館で資料を探したり調べたりしながら学習を進めていった。

その他、読み聞かせ講座の資料準備(保育)や、教員が授業で使用する資料提供なども常時行っている。

#### ④その他、読書活動推進へ向けた取組

##### ・公共図書館との連携

本校図書館の蔵書は限られているため、授業、進路などで必要な資料を、市立図書館や県立図書館から借受することも多い。

今年度は、前述の4校合同 POP 展で、一部展示を行っていただくなど、学校図書館活動への理解と協力を頂いている。